

文部科学省 先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業  
信州大学 「ナノカーボン産業拡大の為のカーボンバレー構築支援事業」

## 平成 26 年度 支援利用成果報告書

平成 27 年 04 月 02 日

所 属 株式会社サンジュニア 技術開発部  
職 名 課長代理  
氏 名 河野 誠二  
所在地 〒382-8533 長野県須坂市須坂 1595-1  
TEL 026-215-2600

1. 課題番号 26-105
2. 利用課題名 太陽熱エネルギー利用機器の性能評価/分析
3. 採択事業 トライアルユース②
4. 利用施設名 ナノカーボン・デバイス試作・評価装置群
5. 利用の目的・内容  
太陽熱エネルギー利用機器の販路拡大を進めている。ユーザーの使用環境に適用する製品を目指し、環境試験を行い、評価する。
6. 利用した装置  
FE-SEM、EPMA
7. 利用の期間  
平成 26 年 12 月 19 日 ～ 平成 27 年 3 月 31 日  
  
・利用した月に○をお願いします。  
( 4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・**1月**・**2月**・3月 )
8. 実験方法 ( 第三者が十分に内容を理解できる形をお願いします。)  
環境試験を行い、部品の状況を確認する。

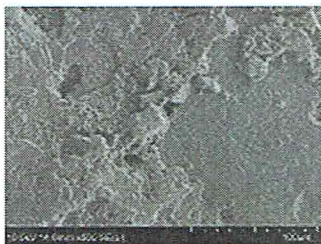
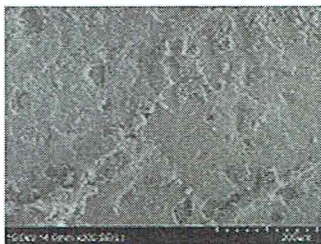
## 9. 実験結果

電子顕微鏡画像を示す。

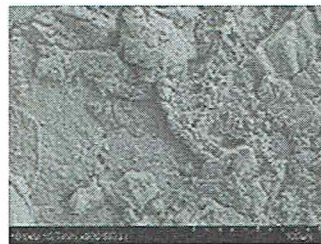
サンプル A



サンプル B



サンプル C



サンプル A は、表面に形成されているメッキ層が剥がれ落ち、材料表面が観察されている。サンプル B と C については、剥がれは観察されないが、表面を覆うように析出物が確認された。

### 10. 成果の概要（特許・製品化・共同研究への進展などあれば記載ください。）

部品の違いにより、対応できる環境が異なることを確認することができた。しかし、今回は表面の確認であったので、今後は内部に影響が無いか確認する必要がある。

### 11. 社会・経済への波及効果の見通し

塩害地域ではサンプル B 及び C を使用する必要性が明確となったため、施工品質の向上が見込まれる。今後はフィールド設置したサンプルの解析を行いさらに施工品質向上に努めたい。

### 12. 本報告書の公開（公開の延期が必要な場合は、詳細な理由をお書きください。）

公開を 2 年間延期することが可能です。）

この報告書の内容は公開されます。本学の施設を利用し成果が上がっている場合にはその事実がわかるようにご記載ください。ただし、非公開としたいノウハウなどは記載いただく必要はありません。秘密保持協定により本報告書の内容を公開するために所属長の了解を要する場合は以下に記名捺印ください。

本報告書の内容を公開することに同意いたします。

(申込者の所属長の) 所属名 技術開発部

職 名 部長

氏 名 西原弘樹



以上

送 付 先

〒380-8553 長野市若里 4-17-1 信州大学 カーボン科学研究所

先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業運営委員長 教授 橋本佳男

TEL: 026-269-5230 FAX: 026-269-5388

E-mail: hashimt@shinshu-u.ac.jp